

会 議 録 (要旨)

会議の名称	第3回狛江市商業振興プラン策定委員会
開催日時	令和6年9月26日(木曜日)午後5時00分から午後7時15分
開催場所	狛江市防災センター301会議室
出席者	<p>【委員9名】 渡辺委員長、伊藤副委員長、白井委員、松崎委員、下平委員、絹山委員、櫻井委員、村上委員、片岡委員</p> <p>【事務局4名】 狛江市 市民生活部 地域活性課 矢野、五十嶺、石井 株式会社シティ・プランニング 吉田</p>
欠席者	【1名】吉田委員
会議資料	<p>◆資料1 : 狛江市商業振興プラン(評価:平成31年度~令和5年度)の事業評価(最終版)</p> <p>◆資料2-1 : 消費者アンケートの実施について(経過報告)</p> <p>◆資料2-2 : 消費者アンケート調査票</p> <p>◆資料3-1 : 狛江市商業振興プラン商業者アンケート</p> <p>◆資料3-2 : 商業者アンケート項目の比較表(現行計画時今回調査)</p> <p>◆資料3-3 : 第2回狛江市商業振興プラン策定委員会の委員意見と対応方策(案)</p> <p>◆資料4 : 創業者アンケート調査 設問設計の考え方</p> <p>◆資料5-1 : 商店会調査 項目設計の考え方</p> <p>◆資料5-2 : 商店会調査 配布シート(案)</p> <p>◆資料6 : 商業者ヒアリング調査 項目設計の考え方</p> <p>◆資料7 : 狛江市商業振興プラン構成(案)</p> <p>◆資料8 : 新プランに向けた検討シート</p> <p>(参考資料) : 第2回狛江市商業振興プラン策定委員会 会議録(要旨)</p>
議題	<ol style="list-style-type: none"> (1) 現狛江市商業振興プランの検証について (2) 消費者アンケートの実施報告について (3) 商業者アンケートについて (4) 創業者アンケート(案)について (5) 商店会配布シート(案)について (6) 商業者(商工会青年部等)へのヒアリング(案)について (7) 新プランの構成(案)について (8) 新プランに向けた検討

● 会議事項

(1) 現狛江市商業振興プランの検証について	
発言者	会議内容
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 第3回狛江市商業振興プラン策定委員会では、調査項目等の細かな指摘ではなく、狛江市における現在の商業に関する課題や新プランへの期待等を各委員に伺い、新プラン策定の素材を集める内容にしたいと考えている。また、本日の委員意見については、事務局で内容を整理し、各調査項目や新プランに反映していく。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料説明：【資料1】狛江市商業振興プラン（評価：平成31年度～令和5年度）の事業評価（最終版）
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 資料1「狛江市商業振興プラン（評価：平成31年度～令和5年度）の事業評価（最終版）」に関する意見や質問はあるか。
委員	= 特になし =

(2) 消費者アンケートの実施報告について	
発言者	会議内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料説明：【資料2-1】消費者アンケートの実施について（経過報告） ◆資料説明：【資料2-2】消費者アンケート調査票
委員長 事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> 消費者アンケート調査の督促状は、送付するのか。 今回の消費者アンケート調査では、督促状の送付は予定していない。 資料2-1「消費者アンケートの実施について（経過報告）」に関する意見や質問はあるか。
委員	= 特になし =

(3) 事業者アンケートについて	
発言者	会議内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料説明：【資料3-1】狛江市商業振興プラン事業者アンケート ◆資料説明：【資料3-2】事業者アンケート項目の比較表（現行計画時今回調査） ◆資料説明：【資料3-3】第2回狛江市商業振興プラン策定委員会の委員意見と対応方策（案）
委員長	<ul style="list-style-type: none"> 事業者アンケート調査の回答率は、どのくらいを想定しているのか。

(3) 商業者アンケートについて	
発言者	会議内容
事務局 委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・有効回答率約 30%を目標としている。 ・今回の商業者アンケート調査では、割付を設定するのか。 ・今回の商業者アンケート調査の対象は、狛江市商工会会員の約 900 事業者と市内の事業者約 100 事業者、合わせて 1,000 事業者としているが、業種別等の割付は行わない予定である。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・商業者アンケート調査を実施するにあたり、狛江市商工会において何か協力していただけることはあるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江市商工会会員に向けて、商業者アンケート調査への協力依頼の書面配布や FAX 送信等、狛江市商工会として協力できることはあると思う。
事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・商業者アンケート調査の実施にあたっては、狛江市商工会と相談する。 ・資料 3-1 「狛江市商業振興プラン商業者アンケート」に関する意見や質問はあるか。
委員	= 特になし =
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・商業者アンケート調査に関する意見があれば、9月30日までに事務局に提出をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局においては、各委員の意見をふまえ、商業者アンケート調査項目を修正いただきたい。なお、商業者アンケート調査項目の決定については、委員長、副委員長、及び事務局に一任する。
委員	= 異議なし =
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・商業者アンケート調査票の確定版は、各委員にメールにて送付する。

(4) 創業者アンケート（案）について	
発言者	会議内容
事務局	<p>◆資料説明：【資料 4】創業者アンケート調査 設問設計の考え方</p>
委員長 事務局 委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江市創業スクールを受講した方は、総数何名か。 ・1回の定員が 15 名のため、受講者総数は約 60 名である。 ・1回あたりの狛江市創業スクールの受講日数はどのくらいか。また、狛江市創業スクール受講後の追跡調査は実施しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1回あたりの狛江市創業スクールの受講日数は5日間である。また、狛江市創業スクール受講者には、年1回電話による追跡調査を実施しているが、連絡がつかない受講者もいる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江市創業スクール受講者 60 名の年齢、性別、創業後の業種等の割合について把握しているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点においては、集計したものはない。

(4) 創業者アンケート（案）について	
発言者	会議内容
副委員長 委員 委員 事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市商工会では、創業者支援として何か実施しているか。 ・ 狛江市商工会では、今年度、市と協力して創業スクールを開催した。 ・ 創業者アンケート調査の目的は、市内での創業者を増やすためか。それとも、創業後のフォローアップを検討するためか。 ・ どちらも目的としている。 ・ それであれば、調査項目の検討では「どのような方に市内創業をしてもらいたいのか」、「行政としてどのように創業を促したいか」が重要である。 ・ 資料4「創業者アンケート調査 設問設計の考え方」の設問（案）について、問1～3の「性別、年齢、狛江市創業スクール受講年」は、市が把握しているのであれば、削除しても良いのではないか。
事務局 副委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査項目については、再度検討する。 ・ 市内にコワーキングやシェアオフィスはあるか。 ・ 市が運営しているものではないが、市と民間事業者が協定を結び連携している施設として、和泉多摩川駅の高架下にある「FORT MARKET 和泉多摩川」と「FORT MARKET LOGE（フォートマーケット ロジ）」がある。この施設では、様々な方が入れ替わりで食のECビジネスにチャレンジしている。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ その施設を利用している方は、市内での創業予備軍にあたると思うので、創業者アンケート調査の対象者としてはどうか。会社に勤めていると、狛江市創業スクール（計5日間）に参加することが困難な方もいると思う。
委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業者アンケート調査の対象者数を増やすため、他にアイデアはないか。 ・ 創業者アンケート調査において、対象者数60名の結果では、課題や傾向等は見えてこないのではないかと、といった懸念がある。東京都創業NETと連携し、狛江市内で創業・企業をした方や創業に関する相談をされた方の情報を提供してもらい、調査対象者を増やすことを検討してはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまで、東京都創業NETから創業希望者に関する情報を提供してもらったことはないが、創業者アンケート調査の対象者については、東京都創業NETとの連携も含めて、再度検討する。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料4「創業者アンケート調査 設問設計の考え方」の設問（案）について、問10の選択肢の順序を再検討してはどうか。①と②のシェアキッチンに関する項目は、食に関する創業者に限定される内容であるため、下位の記載でも良いと思う。 ・ 問12の選択肢に「個別相談」を追加してはどうか。事業者向けのアドバイスを実施していると、「事業計画の書き方がわからない」等の個別相談が多く、ニーズはあるように感じる。 ・ 狛江市の創業支援について、狛江市創業スクールの内容を見ると昔ながらのメニューのように思うので、社会情勢や時代潮流に合った内容を取り入れても良いと思う。また、市内において、商業登記や会社登記ができる所を増やせば、創業者も増えるように思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業支援においては、具体的な内容を個別で相談できる「個別相談」は非

(4) 創業者アンケート(案)について	
発言者	会議内容
委員	常に評判が良い。グループワークでは他の参加者もいるため、相談したいことを言えないこともある、と聞く。
委員 委員長 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・「fabbit 狛江」では、異業種交流会を実施するなど、入居している事業者がお互いのビジネスを活かせるような環境づくりをしている。また、入居者には創業者も多い。 ・身近に創業しようとしてる人の意見等でも良いので、他に意見はあるか。 ・埼玉越谷市では、子育て世代や子育てが終わった世代の女性を中心となって、マルシェ等のイベント企画・開催を実施している事例がある。その方々は本格的な創業ではなく、副業のような形で創業していた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料4「創業者アンケート調査 設問設計の考え方」の設問(案)について、問6の選択肢をもう少し細かく分けてみてはどうか。創業した回答者がイメージしやすい選択肢が良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・狛江市で創業を検討している人に調査を実施することも大切だが、市内事業者には「なぜ狛江市で創業したのか」「現在、市内で創業するならこんな支援がほしい」等を聞くことで、新たな視点が生まれるのではないか。
委員 事務局 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の創業者アンケート調査では、副業の創業も含まれるのか。 ・副業の創業も含むことを想定している。 ・創業者アンケート調査に「本業又は副業」の設問を追加してはどうか。 ・市の方向性としては、法人市民税の拡大のため、市内創業者を増やしていきたいと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の創業者を増やすのであれば、自宅住所を知られたくない方もいるので、借りられる事務所があれば良いのではないか。名刺に自宅住所ではなく事務所住所が記載できることは、精神的にも良いと思われる。
副委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・市内創業者を増やすため、政策的にコワーキングスペースやシェアオフィスを増やしていくのも良いのではないか。 ・新プランの取組に前述のような内容を記載すれば、創業者を増やすための取組も実施しやすくなるため、取組事業については検討を進める。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・登記住所がシェアオフィスの場合、融資を断るようになっているため、その点は考慮する必要がある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市内創業者を増やすためには、自宅以外で働ける場所や人と繋がる場所等が増えると良いと思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員においては、本日の議論をふまえ、創業者アンケート調査に関する意見があれば、9月30日までに事務局に提出をお願いしたい。 ・事務局においては、各委員の意見をふまえ、創業者アンケート調査の対象者と調査項目を再度検討いただきたい。なお、創業者アンケート調査の対象者及び調査項目の決定は、委員長、副委員長、及び事務局に一任する。
委員	= 異議なし =

(5) 商店会配布シート（案）について	
発言者	会議内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ◆資料説明：【資料5-1】商店会調査 項目設計の考え方 ◆資料説明：【資料5-2】商店会調査 配布シート（案）
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・配布シート（案）に関しては、「前回調査と変わらない」という回答が返ってくるように思う。商店会の現状を把握することには賛成だが、将来的な意見は望めないように思う。 ・シートを配布するのではなく、各商店会の代表者にヒアリングをした方が色々な意見が聞き取れるのではないか。 ・個々の店舗や事業者は頑張っているが、商店会活動はほとんど無いように思う。狛江ショッピングセンターでは、年1回イベントを実施している。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・以前は、市内商店会の代表者が集まって会議する連絡委員会があった。数年前に実施しなくなったが、最近また復活して会議を実施している。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の連絡会議は9月30日に実施する予定のため、会議において商店会調査の協力を依頼する予定である。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画策定時から、商店会の合併や解散はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現行計画策定時は16商店会あったが、1つ解散し、現在は15商店会となっている。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・各商店会の組織として、青年部はあるのか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・商店会組織としての青年部はないが、狛江市商工会では青年部がある。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、市の取組事業として、11月から1月までの3ヶ月間、商店会を市民に知ってもらうことと、商店会が元気になることを目的として「ピンズラリー」を実施する予定である。概要は、対象となるお店で商品やサービスを購入することでピンズがもらえ、ピンズを集めるイベントである。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民は商店会、商店街を意識しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和の頃、商店会や商店街は非常に活気があったと聞く。現在は商店会・商店街を意識せず生活している方も多いと思われる。また、各商店会において、独自イベントを企画・実施している会もあれば、何も活動していない会もある等、市内商店会の活動に温度差がある。11月からのイベントでは、市民に商店会や商店街を認識してもらう機会にしたい。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討においては「商店街の必要性」や「商店街の機能」が重要になると思う。必要機能の1つに「まちの賑わい機能」があげられる。また、駅前まで買い物に来ることができない「買い物弱者の支援機能」もあると思われる。 ・行政支援として「全ての商店街を元気にさせる」ということは難しいのではないか。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・商店会の設立は、東京都からの補助金がもらいやすいメリットがある。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・商店会のメリットは、創業時の相談や事業者紹介等のネットワーク力もあると思われる。現在、市内の商店会では、そのような取組は実施されているか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・商店会の会議に参加する事業者は、不動産業や建築関係者が多いように感

(5) 商店会配布シート（案）について	
発言者	会議内容
委員長	<p>じる。市内には生鮮食料品店が少ないため、参加する事業者の業種が偏ることは仕方がない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の必要性については、商店街の面白いところを消費者に伝えていければ良いと思う。 ・商店街を「魅力化や機能充実を図っていく商店街」「地域住民の買い物拠点としての商店街」「余生の楽しみとしてお店をしているが、将来的には解散する商店街」等に分類し、メリハリをつけた商店街支援を実施していくことも必要かと思われる。 ・各委員においては、本日の議論をふまえ、商店会配布シート（案）に関する意見があれば、9月30日までに事務局に提出をお願いしたい。 ・事務局においては、各委員の意見をふまえ、商店会調査の目的と、現状だけでなく各商店街の将来の方向性を把握するような調査項目を再度検討していただきたい。なお、商店会調査項目の決定については、委員長、副委員長、及び事務局に一任する。
副委員長	
委員長	
委員	

(6) 事業者（商工会青年部等）へのヒアリング（案）について	
発言者	会議内容
事務局	<p>◆資料説明：【資料6】事業者ヒアリング調査 項目設計の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業者ヒアリング調査は、狛江市商工会商業部会にも実施する内容ではないか。調査対象者が、狛江市商工会青年部であるのは何故か。 ・昨年度、狛江市商工会青年部の方々と意見交換する機会があり、新プラン策定においても意見を伺いたいと考え対象とした。 ・新プランを検討するにあたっては、若い年齢の事業者や狛江市商工会商業部会の方々の意見を伺うことが良いと思う。 ・狛江フェスティバル実行委員会のメンバーにも、事業者ヒアリング調査を実施してはどうか。 ・なぜ、狛江市商工会青年部に事業者ヒアリング調査を実施するのか。事業者ヒアリング調査の目的がわかりにくい。 ・事業者ヒアリング調査の実施は良いと思うが、意見を言いつけなしにするのではなく、市と狛江市商工会青年部が協力して「●●事業を実施する」「●●の取組みができる」など、ヒアリング結果が計画にどう反映されたか等の情報提供をしていただけると、意見が言いやすいように思う。 ・現時点において、実施予定の取組又は実施したいことはあるか。 ・狛江市商工会青年部のメンバーは、様々なイベントを企画・運営しているため、新しい取組を企画・運営するというより「今のイベントを広めてい
委員	
事務局	
委員	
委員	
委員	
委員長	
委員	

(6) 商業者（商工会青年部等）へのヒアリング（案）について	
発言者	会議内容
副委員長	<p>った方が良い」と考えている人が多いように思う。また、商業者ヒアリング調査では、新規で飲食店を始めた事業者に話を聞くことも良いと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業者ヒアリング調査の項目について、参加した方の個人の思いや考え方を聞く項目が良いのではないか。例えば「狛江市にどういう思いがあるのか」「どういう場所があると、事業をやりやすいのか」など。 ・現在の課題を一つ一つ解決していくため、「●●の取組を実施します」では、いつまでも低空飛行の施策になる。まず「数年後、●●のようなまちでこういう商売していきたい」等の目指す将来像を設定し、そのために何をしていくか考える方が良いのではないか。 ・若手の事業者は、後継者が多いのか。創業者が多いのか。後継者と創業者では考え方が異なる。 ・若手事業者における後継者と創業者の割合は、半分程度と思われる。 ・狛江市商工会青年部に加入する事業者は、狛江市の将来について色々と考えている方が多いため、商業者ヒアリング調査では、意見が多く出てくるように思う。 ・事務局においては、各委員の意見をふまえ、ヒアリング項目を再度検討していただきたい。なお、ヒアリング調査にあたっては、狛江市商工会と事務局が調整し実施していただきたい。
委員長	
委員	
委員長	

(7) 新プランの構成（案）について	
発言者	会議内容
事務局	<p>◆資料説明：【資料7】狛江市商業振興プラン構成（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料7「狛江市商業振興プラン構成(案)」に関する意見や質問はあるか。 <p>= 特になし =</p>
委員長	
委員	

(8) 新プランに向けた検討	
発言者	会議内容
事務局	<p>◆資料説明：【資料8】新プランに向けた検討シート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の市の商業について、自由な意見やアイデア、キーワード等を伺いたい。 ・狛江駅南口の再開発について、新プランに再開発の内容を盛り込むのか。 ・狛江駅南口の再開発については、道路整備や建築に関する規制等のハード整備も含まれるため、現時点では、新プランに盛り込まないことを想定している。但し、狛江駅南口は商業エリアのため、新プランでは大きな方向
委員長	
委員	
事務局	

(8) 新プランに向けた検討	
発言者	会議内容
副委員長	性は押さえつつ、市全体に関連する内容は総合基本計画に記載する内容であると考えている。
委員	・ 狛江駅南口の再開発については、新プランにおいて記載した方が良いでしょうに思う。
事務局	・ 5年後、新しい図書館は出来ているのか。新しい拠点が出来れば、そこに人が集まるため、新プランを検討するにあたり、市役所周辺がどのように変化するか等、市からの情報提供は重要である。
副委員長	・ 現在の中央図書館は市役所敷地内の市民センターに整備しているが、施設の老朽化に伴い2～3年後に改修する予定である。改修後は、市役所から徒歩5分程度の場所に整備するものと、市民センター内に整備するものと、機能分担した形となる。なお、子ども向け図書館は、現在の市民センター内に整備する予定である。
事務局	・ 有名な建築家が設計した図書館となるのか。また、カフェを併設する等の案は出ているか。
委員	・ 現時点では、そのような案は出ていない。
委員	・ 狛江市の良い点は、東京や横浜等どこに行くにも便利な点である。
委員	・ 新プランの検討にあたっては「外国人との共生」を率先して取り組んでいった方が良いでしょうと思われる。市内においては、ネパール人が増えているように感じており、先進国より発展途上国の外国人を積極的に呼び込んだ方が良いでしょうに思う。
委員	・ 住民は「住み続けるなら資産価値を上げたい」と思っているもので、まとまった範囲の開発をする方が良いでしょう。
委員	・ 市内において「特別行きたい」と思う場所はないが、リラックスして住めるのが狛江市の良いところである。住宅地が増えているので、住みやすさを売りにするのも良いでしょうに思う。
委員	・ 西和泉2丁目の「多摩川住宅」は新しく建て替えるため、約1,000件分譲が増える予定であり、それに伴い子育て世帯の増加が予想されている。
委員	・ 和泉本町4丁目の「都営狛江団地」も、将来的に建て替えることを検討している。
委員	・ 旧狛江第四小学校跡地では、体育施設等複合機能を持った屋内施設やグラウンド等の屋外施設を整備する計画もある。
委員長	・ 東京慈恵会医科大学附属第三病院では、リニューアル事業が進んでいる。
委員長	・ 新プランを検討するにあたっては、住宅増加に伴う人口の変化も考慮する必要がある。
副委員長	・ 商業振興に関する取組を何もしないと、西和泉2丁目や和泉本町4丁目の住民は、調布市へ買い物に行ってしまう気もする。
副委員長	・ 狛江市というと、クラフトビールのイメージが強い。クラフトの文化は親和性がありそうである。
委員長	・ 商業振興においては、地方との繋がりも重要と思われる。狛江市では姉妹都市や友好都市等の提携はあるか。

(8) 新プランに向けた検討	
発言者	会議内容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市では、新潟県長岡市川口地域と「ふるさと友好都市」、山梨県小菅村と「住民交流友好都市」の提携を結んでいる。また、長野県茅野市とは「2050年脱炭素社会の実現に関する連携協定」を締結している。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新潟県長岡市川口地域や山梨県小菅村、長野県茅野市と交流があるなら、新プランに活かしても良いと思う。例えば、提携先の特産品や木材・間伐材の活用などを新プランに盛り込むなど。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内分野毎に、他自治体や民間事業者と締結している協定はあるので、商業振興がその連携や協定を活用させていただくことも検討する。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新プランの検討にあたっては、防災面の視点も必要ではないか。防災備蓄品を事業所等に保管し、災害時には市民に配布する等も考えられる。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内での買い物や飲食店について、各委員はどう感じているか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内での買い物等で感じていることは、「食料品は安い」「コーヒー豆を焙煎しているお店がある」「重たいものは通販で購入している」「衣服は市内ではあまり購入しない」等である。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市民の所得は高いか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の所得は高い方だと思う。駐車場代も高い。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市周辺には集客力のある大きな商業施設が立地しているため、市内に付加価値のあるお店があれば、誘客は可能だと思われる。また、創業支援についても「どういった創業者を取り込み、支援するか」が重要である。 ・ 周辺自治体と同じような取組を実施しても、集客は困難であると思われるため、新しい団地や分譲住宅に入居する年齢層と親和性が高いものを検討するのも重要かと思われる。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向ヶ丘遊園の再開発について、各委員はどう感じているか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市民は、買い物をしに向ヶ丘遊園には行かないと思う。買い物に行くなら新百合ヶ丘である。また、映画を観るなら世田谷区や調布市に行く。 ・ 狛江市には、他の市町村から買い物目的では来ないように感じる。但し、個別店舗（ラーメン屋等）を目的として来ることはある。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市民の市内での動きはどうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的があれば市内で買い物や外食（有名な寿司屋さん）はするが、目的がなければ移動することはあまりない。
副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市商工会青年部では、地域の商業に関する話題は出るか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市で物件を探している人は多いが、飲食店舗はほとんど無い。また、元々店舗であったが現在は店舗として貸してないところも多い。創業者に向けた補助金があると良いが、現時点においてそのような補助金があれば、周知されていないように感じるので、情報発信も必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 和泉多摩川駅から徒歩3分程度に住んでいる人でも、狛江駅で電車を降りて買い物をして帰る。狛江市内で住居を探している方は、狛江駅からの距離を重要視している。 ・ 市内では、無人自動運転バスの実証実験が予定されており、和泉多摩川から田中橋交差点を経て、多摩川団地を周回するルートが採択されている。

(8) 新プランに向けた検討	
発言者	会議内容
副委員長 委員	<p>そのため、和泉多摩川駅周辺はもっと盛り上がってほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市商工会商業部会では、地域の商業に関する話題は出るか。 ・ 跡継ぎいない事業者の支援として、事業をやりたい人を探すなど、狛江市商工会で取り組むことはできないかという話は出ている。また、商品や個々の店舗を紹介する動画配信や、小田急マルシェ狛江との連携についても話題が出ている。現在、狛江市商工会と小田急マルシェ狛江は全く関わりがないので、協力や活用をふまえた関係構築を図っていきたい。
副委員長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小田急マルシェ狛江と話し合う場はあるのか。 ・ ない。一般社団法人狛江まちみらいラボが、狛江駅前の「ほこみち」に関する取組を実施しているが、民間事業者が何か実施していることはない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近、東京都江東区にある砂町銀座商店街を訪れた。高齢者の割合が約9割であるが、新しいお店も開店しており、毎週末、人が多く賑わいがある商店街である。 ・ 砂町銀座商店街は全長約670mのため、狛江市の商店街に置き換えて考えると、目指す姿は砂町銀座商店街ではないように感じる。市内商店街においては、店舗が少ない商店街であれば7軒である。そのあたりも考慮して新プランを検討する必要がある。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 狛江市では「商店街」として網をかけ、個々の店舗の魅力を引き出すような方向性が良いように感じる。

(9) その他	
発言者	会議内容
事務局	◆説明：第4回狛江市商業振興プラン策定委員会の開催時期について
委員	= 質問なし =
	以上